



NEWS RELEASE

2013年4月1日

東ソー株式会社

社長入社式挨拶（4月1日、東ソー本社での訓示から抜粋）

東ソー株式会社 入社式

日時：2013年4月1日（月）10時より

場所：本社（東京都港区）にて

宇田川 憲一 社長の訓示（要旨）

社会人としての第一歩を踏み出した皆さん、おめでとう。

東ソーで働く仲間の一人として、皆さんを迎えることができ、大変うれしく思っている。

日本経済は長年停滞し、デフレが続き、特に製造業は、円高、エネルギーコスト等のいわゆる6重苦により、厳しい事業環境にあった。

勿論、当社も同様の状況である。しかし、昨年末の政権交代により、政府が発表した経済成長のための施策である財政出動、金融緩和、成長戦略の3本の矢に円相場や株式市場が大きく反応した。まだ期待感が先行している状態であり、政府のしっかりとした成長戦略の実施に期待するとともに、また我々も地に足の着いた、成長路線を歩まなければならない。

入社式にあたり、次の4つのことを言うておく。

第一は、東ソーは今、大きな転換点に来ているということである。アメリカのシェールガス革命により更なる困難が予想される石化事業。原料を輸入し、国内で製造し、アジアに販売していくといったビジネスモデルが難しくなっている事業群等々。これらの課題は大きく、現在の過度の円高修正で安心し、今まで通りの戦略を踏襲するだけでは生き残ることはできない。今後、生き残り、成長するには、会社の中身を変える必要があり、若い新入社員の皆さんがその力になってくれることを大いに期待している。

第二は、会社の仕事はコミュニケーションが大事である。メールや電話による連絡も大事だが、直接会って相手の顔色を見て話すことがもっと大事である。人と話すのが苦手という人もいるかもしれないが、努力してもらいたい。

第三は、所属する部署のプロになるべく早くなってもらいたい。遅くとも3年で、その部署の事はなんでも知っているプロになり、同時に、その部署の事しか知らない蛸壺人間にならないよう、東ソーの動き、他の化学企業の動きや世間一般の動向にも興味を持ってもらいたい。

第四は、外国語の習得である。今後、仕事の間がどんどん外国に広がっていく。日本にいても、英語でのやり取りが増えている。これは技術系も事務系も変わらない。パソコンと同じように英語を扱えるようになってもらいたい。英語は自信あり、という人はぜひ中国語に挑戦してもらいたい。

以 上

東ソー株式会社 広報室

東京都港区芝3-8-2 〒105-8623
TEL 03(5427)5103 FAX 03(5427)5195
<http://www.tosoh.co.jp>